

平成29年10月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成29年10月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいませうようお願いいたします。

【お知らせ】

八戸市では、平成29年度職員採用試験（建築・獣医師・薬剤師）を次のとおり実施いたしますのでお知らせします。

特に、獣医師及び薬剤師は、本年1月の中核市移行に伴い開設した保健所業務に欠かすことができない職種ですが、職員の確保が難しく、今年度、獣医師試験は3回目、薬剤師試験は2回目の実施となっております。つきましては、卒業見込の学生の方や、八戸での就職を希望する方などに対し、広く周知していただきますようお願いいたします。

■平成29年度八戸市職員採用試験（建築・獣医師・薬剤師）

（1）募集受付期間

平成29年11月8日（水）まで

（2）試験日

① 建築

平成29年11月25日（土）、26日（日）

② 獣医師・薬剤師

平成29年11月26日（日）

（3）試験会場

八戸市庁

（4）試験に関するお問合せ

八戸市人事課（0178-43-9227）

（5）その他

試験案内や申込書について、詳しくは下記の市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/8,4802,36,57,html>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいませうようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸10月号 レポート

平成29年9月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	日本玩具文化財団特別制作の「八戸南郷 蛭リカちゃん」八戸市に寄贈
(2)	水産科学館マリエント「ちきゅう」情報館を一新
(3)	八戸市公会堂 天井耐震工事のため1年休館
(4)	「転入者応援！ 親子はちのヘッダー」開催
(5)	「本のまち八戸」事業 受賞 青森県内初

【産業】

記事	概要
(6)	合掌土偶モチーフPLINEスタンプ 八学短大生が開発
(7)	八戸で世界黒にんにくサミット開催 成分に基づく国際基準公表
(8)	「青森にんにく味」のポテトチップス発売
(9)	三菱製紙と王子新会社 青森県、八戸市と立地協定
(10)	星野リゾート青森屋（三沢市）に「八幡馬ラウンジ」オープン
(11)	2016年青森県農水産物・食品輸出額 過去最高の240億円
(12)	青森県内8月の有効求人倍率1.26倍で過去最高

【地域】

記事	概要
(13)	南極観測船「しらせ」6年ぶりに八戸港に入港
(14)	蕪嶋神社 「御木曳行事」で住民ら450人が行列
(15)	全国学生書道展 小中野小が30年連続の優勝
(16)	～秋の訪れ感じて～「キリギリス・バス」運行
(17)	18年間親しまれた「まちの駅はちのへ」運営終了
(18)	コンクリート研究に関する国際会議 菅原さん（八戸高専名誉教授）優秀論文賞
(19)	セメント技術大会 馬渡さん（八高専）が優秀講演者賞
(20)	地球深部探査船「ちきゅう」八戸へ寄港
(21)	「八戸デコトラ祭り」開催 全国から200台集結
(22)	光星学院 フィリピンに中高一貫校開設へ

【文化・スポーツ】

記事	概要
(23)	中世の城 史跡根城で「薪能」一流の舞に観衆絶賛
(24)	八戸駅西にアイスホッケーアリーナ ゼビオが建設検討

【行政】

記事	概要
(1)	<p>日本玩具文化財団特別制作の「八戸南郷 蛍リカちゃん」 八戸市に寄贈</p> <p>日本玩具文化財団が、八戸市南郷の蛍をイメージして特別に作られた人形「八戸南郷 蛍リカちゃん」を同市に寄贈した。蛍リカちゃんは、7月15日～9月3日に南郷歴史民俗資料館で開催されていた「しあわせのリカちゃん展」に合わせて、著名な人形衣装作家モモリータさんが制作した。青緑に透けるフリルで蛍の光を表現したほか、頭のターバンは蛍の顔をイメージしたという。リカちゃんと一緒に作られたリカちゃんの友達「さくらちゃん」と共に同資料館で9月8日から展示される。</p>
(2)	<p>水産科学館マリエント「ちきゅう」情報館を一新</p> <p>八戸市水産科学館マリエントは9月16日、海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」の研究成果などを紹介する情報館をリニューアルした。開設10周年記念で、同機構の協力を経て展示物を大幅に入れ替えた。地球誕生からの歴史をたどるアニメ映像やクイズ、潜水調査船「しんかい6500」から見た深海の様子を360度見ることができるバーチャルリアリティー（VR）、デジタル地球儀が目玉。16日にはリニューアル記念式が行われ、小林眞市長や大島理森衆院議長、機構の平朝彦理事長らがくす玉を割って祝った。</p>
(3)	<p>八戸市公会堂 天井耐震工事のため1年休館</p> <p>八戸市は、内丸1丁目の市公会堂と隣接する市公民館の各ホールについて、2019年7月から天井の耐震補強工事に順次着手し、それぞれの作業期間中は休館にすることを明らかにした。工事はホールの座席を撤去して足場を組んで行うため、公会堂ホールは19年7月～20年7月の約1年間、公民館ホールは20年8月～21年5月の約10カ月間使えなくなる。市は別の公共施設やホテルなどを代替施設として対応する方針である。</p>
(4)	<p>「転入者応援！ 親子はちのハツアー」開催</p> <p>八戸市に移住して間もない親子を対象に、市総合政策部広報統計課は9月15日、「転入者応援！ 親子はちのハツアー～スキダトラベル～」を開催した。1日でも早く八戸になじんでもらおうと、今年初めて企画。参加者は、バスで移動しながら是川縄文館や市総合福祉会館などを見学。はっちでは八戸学院大幼児保育学科の学生らによる創作教室を体験した。情報交換会では、移住した“先輩ママさん”がお薦めの店や観光スポットなどを紹介するなどして親睦を深めた。次回は10月20、21日に開く予定。</p>
(5)	<p>「本のまち八戸」事業 受賞 青森県内初</p> <p>八戸市が進める「本のまち八戸」事業が、文字・活字文化の振興に業績のあった地方自治体や団体、個人に贈られる「第11回高橋松之助記念 文字・活字文化推進大賞」を受賞した。青森県での受賞は初めて。市は、赤ちゃんに絵本を贈る「ブックスタート」や新小学生を対象とした「ブッククーポン」、本のセレクトショップ「八戸ブックセンター」開設などの諸事業を実施中。「まちづくりの核として、他に例を見ない形で積極的に展開している」との評価を受けた。贈呈式は10月30日、東京都で行われる。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p>合掌土偶モチーフLINEスタンプ 八学短大生が開発</p> <p>八戸学院大短期大学部の学生が、無料通信アプリLINE用のスタンプを開発、アプリ上で販売している。「どぐろの祈り」と題し、合掌土偶がモチーフ。2016年度の八戸市学生まちづくり助成金制度を利用して、幼児保育学科池田拓馬ゼミの学生が開発。市埋蔵文化センター是川縄文館を見学した際に、喜怒哀楽のある合掌土偶の表情がスタンプにぴったりだと採用した。スタンプは全40種類、120円で購入できる。</p>

(7)	<p>八戸で世界黒にんにくサミット開催 成分に基づく国際基準公表</p> <p>「第2回世界黒にんにくサミット」(青森県黒にんにく協会、黒にんにく国際会議主催)が9月6日、八戸プラザアーバンホールで開かれ、科学的な成分分析に基づく黒ニンニクの国際基準が公表された。成分分析は県産業技術センター農産物加工研究所の協力で実施。Sアリルシステイン、ギャバなど4つの機能性成分の含量に加え、食味や見た目を総合的に評価する。今後は同会議が認定機関となり、国内外の申請を受け付ける。この日は第1弾として、あらかじめ審査を受けていた県内9社の商品を推奨商品として認定した。</p>
(8)	<p>「青森にんにく味」のポテトチップス発売</p> <p>スナック菓子を製造販売するカルビー(東京)は、田子産ニンニクを使用したポテトチップス「青森にんにく味」を商品化した。地元ならではの味を再現する同社のプロジェクト「♥ JPN (ラブ ジャパン)」の一環。青森にんにく味は、ニンニクパウダーのニンニクのうち60%に田子産を使用した。開発の試食アンケートには県や田子町の職員約50人が協力。最終的にニンニクの味わいを引き立てる甘辛いみそ味に決定した。販売エリアは東北、関東、甲信越地方で、9月18日からコンビニで、10月2日からスーパーなどで販売する。</p>
(9)	<p>三菱製紙と王子新会社 青森県、八戸市と立地協定</p> <p>三菱製紙(東京)と、王子ホールディングス(東京)の子会社「王子ネピア」(東京)が共同で設立した新会社「エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツ」(八戸市)は9月7日、青森県、八戸市と立地協定を締結した。市の誘致企業認定は109件目。新会社は河原木の三菱製紙八戸工場内に、ティッシュやトイレットペーパーといった家庭紙の製造工場を建設し、2019年4月の操業開始を目指す。成長市場として注目される家庭紙の生産により、八戸工場はさらなる競争力強化や事業の多角化が図られる。</p>
(10)	<p>星野リゾート青森屋(三沢市)に「八幡馬ラウンジ」オープン</p> <p>星野リゾート青森屋(三沢市)の渡部賢総支配人らが9月4日、八戸市庁を訪れ、青森屋に9月オープンした「八幡馬ラウンジ」と、5月下旬から販売している同社ブランドの「八幡馬ごぼうチョコせんべい」をアピールした。八幡馬ラウンジは宿泊者限定の空間で、八戸市の伝統工芸品・八幡馬をモチーフにデザインされた。せんべいは八幡馬をかたどった箱で販売され、県産ゴボウを生地に練り込んでいる。渡部総支配人は、「今後も地域と連携し、さまざまな地域資源の発信に力を入れていきたい」と話した。</p>
(11)	<p>2016年青森県農水産物・食品輸出額 過去最高の240億円</p> <p>2016年に青森県から輸出された農水産物・食品の合計額は約240億2800万円で、現行の統計方式となった1985年以降で過去最高となったことが分かった。好調なホタテがけん引して水産品全体の輸出額を15年比で約4割押し上げたほか、取扱額の大きいリンゴも高値により増加を維持した。水産物の最も金額が大きい輸出先は中国で、前年比95%増の55億5600万円となった。またリンゴの輸出先では、16年産から輸出が本格化したベトナムが約5倍に増えた。</p>
(12)	<p>青森県内8月の有効求人倍率1.26倍で過去最高</p> <p>青森労働局は9月29日、青森県の8月の有効求人倍率(季節調整値)が1.26倍(前月比0.02ポイント増)となり、統計が残る1963年以降、過去最高値だったと発表した。季節的な変動を考慮しない原数値で見ると、有効求人数は3万1165人(8.9%増)に対し、有効求職者数は2万3369人(3.0%減)。新規求人数は1万1861人(9.7%増)で、建設業は1509人(26.9%増)と大きく伸びた。八戸で屋内スケート場の工事本格化などに伴う建設作業員の求人が増えている。全国平均は1.52倍で、青森の順位は埼玉と並んで39位。</p>

【地域】

記事	概要
(13)	<p>南極観測船「しらせ」 6年ぶりに八戸港に入港</p> <p>海上自衛隊の南極観測船「しらせ」(1万2650トン)が9月1日、一般公開のため八戸港へ入港した。2009年に就航した2代目しらせの寄港は6年ぶり2度目。しらせは約80人の南極観測隊員の輸送や支援を担っており、現在は船舶運用と観測の訓練で全国を回り、寄港地で内部を公開している。厚さ5メートルの氷を砕いて進む能力があり、大型ヘリコプター2機、気象や海洋の観測装置を搭載。1日は入港セレモニーが行われ、小林眞市長は「八戸市制施行88周年の節目に寄港が実現してうれしい。乗組員も八戸の豊かな自然などを楽しんでほしい」と歓迎。2、3日には同港八太郎4号埠頭P岸壁で一般に公開された。</p>
(14)	<p>蕪嶋神社 「御木曳行事」で住民ら450人が行列</p> <p>2015年11月の火災で社殿を焼失した八戸市の蕪嶋神社は9月3日、新社殿の建設に使う資材を引き入れる神事「御木曳(おきひき)行事」を行った。氏子や地域住民ら約450人が、本殿の柱となるケヤキが載った台車を引っ張る行列に参加。岸壁から蕪島までの約600メートルを、「エイヤー」の掛け声を掛けながら練り歩いた。新社殿は木造2階建て。完成は19年12月で、現在は立ち入りが禁止されている蕪島頂上の一般開放は、20年3月の予定。</p>
(15)	<p>全国学生書道展 小中野小が30年連続の優勝</p> <p>8月20日に千葉県で行われた第57回全国学生書道展(白扇書道会主催)で、八戸市立小中野小が、30年連続32回目の優勝を果たした。同校によると、団体賞としての優勝は、個人賞の数などで決まるといい、同校からは5人の児童が大賞に輝いた。8月28日に大賞を受賞した6年生と5年生の児童計5人が市庁を訪れ、伊藤博章教育長に優勝を報告した。児童は「これからはいろいろな書道展に出展したい」と意欲を示した。</p>
(16)	<p>～秋の訪れ感じて～「キリギリス・バス」運行</p> <p>秋の訪れを感じてもらおうと、岩手県北自動車南部支社は9月5日～30日まで、キリギリスが入った虫籠を載せた「キリギリス・バス」を八戸市内で運行した。毎年の恒例行事で、八戸市の「すず虫とキリギリスを愛する会」が所有しているキリギリスを市内循環コミュニティバス「るるっぷ八戸」に載せ、乗客を楽しませた。車内でキリギリスが鳴き始めると、乗客は「すごい」「鳴いた、鳴いた」と話しながら耳を澄ませていた。</p>
(17)	<p>18年間親しまれた「まちの駅はちのへ」運営終了</p> <p>八戸商工会議所は9月18日、十三日町の市民コミュニティ施設「まちの駅はちのへ」の運営を終了した。まちの駅は1999年10月、国の「空き店舗モデル事業」を活用しオープン。中心街の来街者向けの休憩スペースや創業支援機能などを兼ねた施設として親しまれたが、「はっちや新設予定の『(仮称)マチニコ』など来街者の新たな拠点の整備も進んでおり、開設当初の目的を達成した」として終了を決めた。商議所は一部機能を引き継ぐ形で、10月1日から、旧ワシントンホテル1階のプラムナードに、市民が自作した商品や作品を販売し、創業を支援する新たな拠点「ハンドメイドレンタルスペース『テッコ舎』」を開設する。</p>
(18)	<p>コンクリートに関する国際会議 菅原さん(八戸高専名誉教授) 優秀論文賞</p> <p>八戸高専名誉教授の菅原隆さん(65)が、8月23～25日にシンガポールで開かれたコンクリートの研究に関する学会「OWICS国際会議」で、木更津高専(千葉県)準教授の青木優介さんと共同研究を発表し、優秀論文賞に選ばれた。コンクリートの耐久性の向上に役立てようと、劣化の大きな要因である鉄筋の腐敗に関して、コンクリートに入り込んだ塩分を試薬や鉄粉を使って測定する方法を発表。世界各国から参加した研究者の関心を集め、会議で発表された論文50編から6編選ばれる優秀論文賞を受賞した。</p>

(19)	<p>セメント技術大会 馬渡さん（八高専）が優秀講演者賞</p> <p>5月に東京都で行われた「第71回セメント技術大会」で、八戸高専の馬渡大壮さん(22)が、セメントを活用して放射性汚染水を処理する研究内容を発表し、優秀講演者賞を受けた。大会には約200人が参加。半数以上が社会人で、大学教員や研究者が多いという。同校の学生が大会にエントリーしたのは今回が初めてで、同賞は全国の高専でも5人目の快挙となった。</p>
(20)	<p>地球深部探査船「ちきゅう」 八戸へ寄港</p> <p>一般公開のため八戸港へ入港した海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」の歓迎セレモニーが9月16日、同港八太郎1号埠頭で行われた。寄港は2014年5月に補給に訪れて以来、6度目。海底を掘削して地球内部の状況などを調べるちきゅうは06、12年に八戸沖で掘削を行っており、今回の寄港は八戸市制施行88周年の記念行事としたい市の要望に応じた。17、18日に予定されていた公開は台風の影響で17日のみとなった。</p>
(21)	<p>「八戸デコトラ祭り」開催 全国から200台集結</p> <p>八戸市の多賀多目的運動場で9月17日、「八戸デコトラ祭り」が開催された。トラック愛好家の団体「天照会」（八戸市）の主催で、今年は八戸市制施行88周年記念事業の一つとして開かれた。全国各地から、装飾や電飾で派手に飾られたデコレーショントラック約200台が集結。会場では、デコトラの外装を審査する「デコトラグランプリ」や、トラックのパーツのオークションなども行われた。デコトラを一目みようと思った来場者は、きらびやかな装飾が施された車体の鮮やかさに魅了された。</p>
(22)	<p>光星学院 フィリピンに中高一貫校開設へ</p> <p>八戸市の学校法人光星学院は9月22日、フィリピンに中高一貫校を2018年6月に開設すると発表した。新設校の名称は「八戸学院カーテル高等学校」。フィリピンにある「カーテル高等学校」の校名を変更し、光星学院と現地の教育財団で共同運営する。日本語や日本文化を学ぶカリキュラムを新たに導入。将来的には、現地の学生を八戸学院大で受け入れ、八戸地域の介護分野などで活躍する人材を育成したい考え。さらに、介護分野の教育を充実させるため、19年4月にも同大短期大学部に福祉科を新設する方針である。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(23)	<p>中世の城 史跡根城で「薪能」 一流の舞に観衆絶賛</p> <p>デーリー東北新聞社主催の八戸市市制施行88周年記念「史跡根城 薪能」が9月23日、「史跡根城の広場」で開かれた。上演されたのは野村万作さんが演じる狂言「千切木」、宝生流宗家の宝生和英さんと宝生流の今井泰行さん、野村萬斎さんが登場する能「船弁慶」などの名作ばかり。脈々と受け継がれてきた伝統芸能が、かがり火に照らし出された舞台上で繰り広げられ、約1700人の観衆を、幽玄の世界へといざなった。</p>
(24)	<p>八戸駅西にアイスホッケーアリーナ ゼビオが建設検討</p> <p>アジアリーグアイスホッケーの東北フリーブレイズを運営する大手スポーツ量販店「ゼビオ」グループ（郡山市）が、八戸駅西地区にチームの拠点となるアイスホッケー用のアリーナ建設を検討していることが分かった。建設予定地は、市が整備を進める八戸駅西土地区画整理事業区域内。同駅から北西約200メートルに位置する文化交流施設ゾーンへの立地が検討されている。アリーナは通年利用を想定しているもようで、オフシーズンにはバスケットボールのコートとして活用する案も浮上している。収容人数は3千人規模で、2020年秋ごろの完成を視野に入れ、最終調整が進んでいる。</p>